

教育を起点とした好循環のまちづくり 鹿妻たけひろ通信

2024年 1月発行 No.1



旧年中は大変お世話になりました。心より御礼を申し上げます。
令和6年も、より良い鹿沼市の未来のため、頑張ってください。
これからも、皆様の変わらぬご指導をよろしくお願いいたします。

令和5年の振り返り

9月の当選後、臨時会が開かれ、議長として谷中恵子議員、副議長として石川さやか議員が選ばれました。正副議長が女性というのは、県内の市議会では初めてだそうです。11月には、市政75周年事業として「鹿沼市女性議会」が開催されるなど、男女共同参画に向けた取り組みが行われています。

性別だけでなく、年齢や経歴などの面でも多様性のある議会になれば、様々な視点からの意見を取り入れることができ、市政をより良くすることができるのではないかと考えています。



11月、12月には初めての定例会が開かれ、12月6日（水）には一般質問を行いました。

- ①教員の働き方改革に関して、教員の時間外勤務の状況や、その削減のための今後の取組について
- ②コミセンの更新に関して、方針や手法について

といった内容を質問しました。

(答弁内容は、裏面につづきます)

発行：鹿妻たけひろ後援会 発行責任者：鹿妻たけひろ
〒322-0076 栃木県鹿沼市上日向 307 電話 050-3188-1101

HP：<https://kazumatakehiro.com>

お友達登録
お願いします!



公式 LINE



公式 HP



一般質問の詳細は、こちらのQRコードからご覧ください。
(Youtube 鹿沼市議会チャンネル)

①教員の働き方改革

鹿沼市の小学校中学校教員の時間外勤務は、令和4年度において、月平均でそれぞれ約40時間、約57時間である。その削減に向けて、行事や業務の見直し、休日の部活動の地域移行、地域人材の活用等に取り組む。また、県や国に定数の拡充を要望し、市任用の非常勤講師、教員業務支援員の適正配置に努める。

②コミセンの更新

「鹿沼市公共施設等総合管理計画」を平成28年3月に策定し、令和4年3月に一部改訂した。その計画では公共施設の更新について、「施設の維持」から「機能の維持」を基本方針の1つとし、更新の際には複合化や規模の適正化、民間活力の導入等を検討していく。コミセンの機能としては、行政手続きを行う出張所の機能、地域づくりやボランティア活動などの拠点、住民のニーズ把握をするなど地域活動の拠点、といったものがある。東大芦コミセン等、今後のコミセンの更新については、複合化や業務委託なども視野に入れつつ、地域住民の意見も聞きながら、あらゆる角度から検討を進める。

全国的に、教員の長時間勤務の解消が課題となっており、鹿沼市も例外ではありません。長時間勤務は教員の健康への悪影響、教育の質の低下といった問題を引き起こします。それらは教員や子どもだけの問題ではなく、将来的に、企業の生産性の低下、納税額の減少、社会保障費の増加など、市民全体に関わる問題となっていきます。

現在、市内小中学校にはコミュニティスクール(学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む仕組み)が導入されています。学校と地域との協同を通じて、教員の働き方に余裕ができるように、そしてそれにより教育の質が高まるように求めています。

今後も、市民の方々に市政に対して興味をもってもらえるよう、情報を発信していきます。ご意見などありましたら、お気軽にご連絡ください。